

平成27年度 適性検査問題作成方針

I 全般的な作成方針

- 1 学習指導要領に基づき、入学後に求められる思考力、判断力、表現力等を見ることが出来る総合的な問題を作成する。
- 2 事象を読み解き、身の回りの環境や社会に積極的に働きかけていくことへの適性を見ることが出来る問題を作成する。
- 3 問題解決のために必要な情報を収集、整理し、筋道を立てて考えたり自分の考えを表現したりすることへの適性を見ることが出来る問題を作成する。

II 各適性検査問題作成方針と各問のねらい

適性検査 I

[作成方針]

- 1 人や社会にかかわる事象について、資料、会話文、文章などの内容を読み取り、必要な情報を関連付けて思考・判断・表現する学習の状況を見る。
- 2 想定された生活場面や学習場面をとらえる中で、課題をつかみ、解決に向けて思考・判断・表現する学習の状況を見る。

[各問のねらい]

- 1 基礎的・基本的な知識及び技能を活用して、情報を整理、選択し、判断した内容を適切な図や表、言葉で表現する。
- 2 学級の希望献立を作成する場面で、二つの献立案の特徴に着目した話合いをもとに、小学校生活最後の希望献立を思考し、献立の特徴を紹介文に表現する。
- 3 県産木材カラマツの生産に関する疑問や複数の資料から、新たに開発された技術によるカラマツの活用の工夫について思考し、表現する。
- 4 もてなしの心について書かれた文章を読み、要点をとらえたり、その文章と「利休七則」との共通点を取り上げ、自分の考えと関連付けて作文したりする。

適性検査 II

[作成方針]

- 1 自然科学や数理的な事象について、図や表、会話文などをもとに、必要な情報を整理、選択、処理する中で、見通しをもち筋道を立てて思考・判断・表現する学習の状況を見る。
- 2 根拠や方法及び結果を、図や表、グラフなどにまとめ、振り返ったり解釈したりする中で、事実を関連付けて思考・判断・表現する学習の状況を見る。

[各問のねらい]

- 1 基礎的・基本的な知識及び技能を活用して、情報をもとに関係を明らかにし、判断した内容を整理・処理する。
- 2 一本の竹ひごを切って凧を作る場面で、縦、横の長さや十字に組む位置と、凧の面積の関係について思考し、表現する。
- 3 電磁石を使った回転する模型作りで、作り方を工夫したり、思ったように動かない原因を探ったりしながら、課題を解決するために思考し、表現する。
- 4 サクラの開花に関する「600℃の法則」について、データを整理・処理しながら、正しいかどうか思考し、表現する。